

二宮 淳 議員



一括質問方式

① 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症について

問 命を守る医療体制について、市立大洲病院にも感染者が受診する可能性もあるが、院内の感染予防対策はどうなっているか。

答 市立大洲病院では、世界基準の標準予防策を用いて入院、外来、疾病の感染経路別に感染予防策を講じています。また、全ての職員に感染予防のための研修が義務づけられています。

外来患者様には、入口での体温測定後、簡易な問診をし、最近2週間の身体の状態と動向を伺っています。面会は病状説明や手術の待機、医師から特に許可がある場合を除き原則禁止とし、納入業者の入口を制

限し名簿への記入と体温測定をしています。さらに、感染防止に必要な物品の確保と在庫管理には特に意識を傾注し、県からの物品要望調査への対応をはじめ納入業者から日々の情報を得るなど、必要物品の確保と管理体制の強化に努めています。

今後、国、県の補助事業の活用など、動線確保等の感染防止策により一層取り組むほか、必要な設備を整備したいと考えています。

問 海外からの観光客は、地域へ大きな経済効果をもたらすだけでなく、成長が期待される分野である。しかし、海外の感染症に終息の目途が立たなければ入国制限の解除は難しいため、インバウンドが戻るのには最後になる可能性が高く、古民家再生事業は計画の見直しが迫られるのではないかと心配している。どのような考えか。

答 古民家再生事業は、昨年度改修した町家8棟について、計画どおり分散型古民家ホテル事業を展開します。ご指摘のとおり、インバウンドはしばらく厳しい状況が続くと考えています。一方で、日本人の海外旅行も厳しい状況が続くと予想され、今後はこれまで海外旅行をされていた方をいかに取り込めるかが当

面の課題です。本市としても、安全で安心できる新しい旅行スタイルによる観光需要の高まりを地域経済の立て直しにしっかりとつなげるため、引き続き古民家再生事業を前進させながら観光事業の活性化を図る必要があると考えています。

なお、古民家再生事業の計画見直しは、関係機関と協議し、整備計画の2期目に当たる今年度分の改修は予定どおり進めることとしました。一方で、第2、3波により人の移動が制限されるなどの事態に陥ることも危惧されるため、第3期以降の改修整備計画は、見直しの必要性を含め節目節目で適切に判断していく必要があると考えています。

問 青島への観光客の渡航自粛は、行政としては自粛のお願いしかできないとのことだが、しばらく渡航禁止としてはどうか。

答 青島への観光客の渡航については、感染症拡大防止のため、渡航自粛のお願いや船内での対応に努めています。

このようなことからゴールデンウィーク期間中の乗船客は36名と、昨年と比較して約90%の減少となっています。なお、渡航禁止は、海上運

送法など原則的な運送義務に反するため、過剰な規制や拒否などではないとの見解であり、観光客の乗船は禁止できません。

今後は、緊急事態宣言解除後の社会活動緩和により、海外からの観光客の渡航も見込まれますが、島民や近隣住民の皆さんの日常生活が感染リスクによって脅かされないよう感染予防対策を徹底し、引き続きより安全で安心な定期船の運航に努めてまいります。

定期旅客船「あおしま」

